

4. PET-CT 検診

平成 17 年 6 月 1 日から PET-CT 検診を開始した。検診においては、3 種類のコース（基本コース、ドックオプションコース、スーパーがんドックコース）があり、いずれにも胸部 CT 検査、便潜血検査、血液検査（ペプシノーゲン、ヘリコバクター・ピロリ）、腫瘍マーカー検査（CEA、CA19-9、エラスターゼ 1、PSA [男]、CA125 [女]）が含まれている。

また、他病院からの紹介による自由診療検査、保険診療検査も行なっている。

(1) PET-CT 検診

(PET-CT 基本コース・PET-CT ドックオプションコース・スーパーがんドックコースの計上)

①PET-CT 検査

PET-CT 検査で集積がある場合でも癌とは限らず、問診、既往、後期像撮影を考慮し判定する。有所見者は B1 以上とする。

<PET-CT 判定結果>

〈男性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	1	1	1	1	0	0	4	0.9
B1	0	14	38	84	142	47	18	343	74.1
B2	0	2	7	17	37	17	4	84	18.1
D	0	0	1	9	10	10	2	32	6.9
受診者数 (人)	0	17	47	111	190	74	24	463	100.0
有所見者数 (人)	0	16	46	110	189	74	24	459	99.1
有所見率 (%)	0.0	94.1	97.9	99.1	99.5	100.0	100.0	99.1	

〈女性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	4	3	2	2	0	0	11	4.1
B1	0	3	17	47	78	36	9	190	70.6
B2	0	1	2	11	13	4	2	33	12.3
D	0	2	3	11	9	9	1	35	13.0
受診者数 (人)	0	10	25	71	102	49	12	269	100.0
有所見者数 (人)	0	6	22	69	100	49	12	258	95.9
有所見率 (%)	0.0	60.0	88.0	97.2	98.0	100.0	100.0	95.9	

<PET-CT 検査精密検査対象部位別>

〈男性〉

	~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計 (例)
頭頸部	0	0	0	3	3	4	1	11
甲状腺	0	0	0	1	4	0	0	5
胸部	0	0	0	1	2	2	1	6
乳腺	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部（肝・胆・膵・脾）	0	0	0	0	0	0	1	1
腹部（腎・副腎・尿管）	0	0	0	1	0	0	0	1
腸管（食道・胃・小腸・大腸）	0	0	1	4	3	2	0	10
骨盤内（膀胱・前立腺・精嚢）	0	0	0	0	0	1	0	1
四肢	0	0	0	0	0	1	0	1
要精密検査数（例）	0	0	1	10	12	10	3	36

〈女性〉

	~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計 (例)
頭頸部	0	0	0	2	2	1	1	6
甲状腺	0	1	0	6	3	4	0	14
胸部	0	0	1	2	2	2	0	7
乳腺	0	0	0	1	0	0	0	1
腹部（肝・胆・膵・脾）	0	0	1	1	1	1	0	4
腹部（腎・副腎・尿管）	0	0	0	0	1	0	0	1
腸管（食道・胃・小腸・大腸）	0	0	0	1	1	1	0	3
骨盤内（膀胱・子宮・卵巢）	0	1	2	0	0	0	0	3
四肢	0	0	0	0	0	0	0	0
要精密検査数（例）	0	2	4	13	10	9	1	39

②胸部 CT 検査

胸部 CT 検診では胸部単純 X 線検査の約 10 倍の肺がんが見つかることが知られている。当センターにおいても、CT で見つかった肺がんの多くは早期がんであり手術可能であった。また胸部 CT 検診では、がんだけではなく、結核・肺気腫・狭心症や心筋梗塞の原因となる冠動脈石灰化（動脈硬化）・肺炎・縦隔腫瘍なども早期の段階で見つけることが可能である。有所見者は B1 以上とする。

<胸部 CT 検査判定結果>

〈男性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	3	3	2	4	0	0	12	2.6
B1	0	11	23	59	89	32	12	226	48.9
B2	0	5	18	57	70	28	10	188	40.7
C	0	1	1	4	9	8	1	24	5.2
D	0	0	1	5	4	1	1	12	2.6
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
受診者数 (人)	0	20	46	127	176	69	24	462	100.0
有所見者数 (人)	0	17	43	125	172	69	24	450	97.4
有所見者率 (%)	0.0	85.0	93.5	98.4	97.7	100.0	100.0	97.4	

〈女性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	0	4	0	1	0	0	5	1.9
B1	0	6	18	48	66	26	4	168	62.7
B2	0	3	5	22	26	19	4	79	29.5
C	0	1	0	4	3	0	2	10	3.7
D	0	0	1	2	2	1	0	6	2.2
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
受診者数 (人)	0	10	28	76	98	46	10	268	100.0
有所見者数 (人)	0	10	24	76	97	46	10	263	98.1
有所見者率 (%)	0.0	100.0	85.7	100.0	99.0	100.0	100.0	98.1	

<胸部 CT 検査疾患別一覧>

(男性)

所見	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)
著変なし	0	3	3	2	4	0	0	12
陳旧性変化	0	12	25	79	118	46	14	294
冠動脈石灰化	0	0	4	46	94	46	19	209
大動脈石灰化	0	0	6	43	96	38	18	201
結節影	0	3	15	38	41	13	2	112
軽度肺気腫	0	4	12	23	33	9	4	85
リンパ節腫大	0	3	7	19	24	16	3	72
肝のう胞	0	1	5	13	24	7	0	50
間質影増強	0	2	0	3	22	15	6	48
すりガラス状陰影	0	2	1	14	14	5	0	36
ブラ(ブレブ)	0	0	9	11	5	6	0	31
細気管支炎	0	2	2	5	7	4	3	23
石灰化影	0	0	1	3	11	4	4	23
肺囊胞	0	1	2	4	6	8	1	22
縦隔・肺門リンパ節石灰化	0	0	1	3	7	7	2	20
前縦隔腫瘤	0	1	1	4	10	2	1	19
結節性甲状腺腫	0	0	3	3	10	0	2	18
脂肪肝	0	0	4	7	4	2	0	17
腎のう胞	0	0	2	6	5	2	1	16
びまん性甲状腺腫	0	0	2	6	7	0	0	15
胆嚢結石	0	0	1	7	4	1	0	13
腎結石	0	0	0	7	3	1	1	12
気管支拡張	0	0	1	0	3	4	3	11
胸膜肥厚・癒着・石灰化	0	0	0	1	2	4	2	9
心既往手術	0	0	0	1	5	2	0	8
中等度肺気腫	0	0	0	0	2	3	0	5
間質性肺炎	0	0	0	0	1	3	0	4
肺既往手術	0	0	0	0	2	1	1	4
大動脈拡張	0	0	0	0	2	0	1	3
陳旧性結核	0	0	0	0	0	1	2	3
肋骨の治癒骨折	0	0	0	1	2	0	0	3
胸水	0	0	0	0	1	0	1	2
大動脈瘤	0	0	0	0	1	1	0	2
肺炎	0	1	0	0	0	1	0	2
その他	0	0	0	3	5	2	0	10
受診者数(人)	0	20	46	127	176	69	24	462

〈女性〉

所見	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)
著変なし	0	0	4	0	1	0	0	5
陳旧性変化	0	6	16	64	80	38	7	211
大動脈石灰化	0	0	0	20	40	26	6	92
冠動脈石灰化	0	0	0	9	33	24	9	75
結節影	0	3	6	26	18	17	2	72
肝のう胞	0	2	1	19	15	8	0	45
結節性甲状腺腫	0	1	2	8	17	6	0	34
リンパ節腫大	0	1	3	10	11	5	2	32
石灰化影	0	1	4	8	15	4	0	32
すりガラス状陰影	0	3	2	5	12	4	1	27
間質影増強	0	0	1	2	7	8	4	22
びまん性甲状腺腫	0	1	2	5	3	5	2	18
細気管支炎	0	0	1	5	6	2	1	15
肺囊胞	0	0	0	1	9	2	1	13
気管支拡張	0	0	0	0	6	4	2	12
軽度肺気腫	0	1	2	4	3	2	0	12
縦隔・肺門リンパ節石灰化	0	0	0	1	5	5	1	12
腎のう胞	0	1	0	2	5	2	0	10
前縦隔腫瘍	0	0	3	2	5	0	0	10
腎結石	0	0	1	2	4	1	0	8
胸膜肥厚・癒着・石灰化	0	0	0	3	1	3	0	7
脂肪肝	0	0	0	4	2	0	0	6
乳房既往手術	0	0	0	3	2	1	0	6
ブラ(ブレブ)	0	0	2	1	2	0	0	5
胆嚢結石	0	0	1	2	0	0	0	3
胸水	0	0	0	0	0	1	0	1
中等度肺気腫	0	0	0	0	0	1	0	1
陳旧性結核	0	0	0	0	0	1	0	1
肺炎	0	0	0	1	0	0	0	1
無気肺様陰影	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	3	0	0	3
受診者数(人)	0	10	28	76	98	46	10	268

③便潜血検査

糞便中のヘモグロビン量は、特に下部消化管の出血性病変を伴う疾患において増大する。便潜血検査は大腸がんなどの出血を伴う疾病の早期発見・治療のためのスクリーニング検査として有効な方法とされている。

<便潜血検査判定結果>

〈男性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	15	34	97	154	66	20	386	92.3
D	0	0	4	5	14	7	2	32	7.7
受診者数 (人)	0	15	38	102	168	73	22	418	100.0
有所見者率 (%)	0.0	0.0	10.5	4.9	8.3	9.6	9.1	7.7	

〈女性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	6	18	58	90	45	9	226	96.2
D	0	0	0	4	1	2	2	9	3.8
受診者数 (人)	0	6	18	62	91	47	11	235	100.0
有所見者率 (%)	0.0	0.0	0.0	6.5	1.1	4.3	18.2	3.8	

④ペプシノゲン検査

萎縮性胃炎の強い人に胃がんが発生しやすいことが知られている。この萎縮性胃炎の程度を調べる検査である。

<ペプシノゲン検査判定結果>

〈男性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	17	46	105	177	65	19	429	92.7
D	0	0	1	6	13	9	5	34	7.3
受診者数 (人)	0	17	47	111	190	74	24	463	100.0
有所見者率 (%)	0.0	0.0	2.1	5.4	6.8	12.2	20.8	7.3	

〈女性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	10	24	68	90	44	8	244	90.7
D	0	0	1	3	12	5	4	25	9.3
受診者数 (人)	0	10	25	71	102	49	12	269	100.0
有所見者率 (%)	0.0	0.0	4.0	4.2	11.8	10.2	33.3	9.3	

⑤ヘリコバクターピロリ(ピロリ菌)検査

陰性(-)：ピロリ菌がない可能性が高い

陽性(+)：ピロリ菌がいる

<ヘリコバクターピロリ(ピロリ菌)検査結果>

〈男性〉

	~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計 (人)	比率 (%)
陰性(-)	0	16	45	102	175	65	21	424	91.6
陽性(+)	0	1	2	9	15	9	3	39	8.4
受診者数(人)	0	17	47	111	190	74	24	463	100.0
有所見者率 (%)	0.0	5.9	4.3	8.1	7.9	12.2	12.5	8.4	

〈女性〉

	~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計 (人)	比率 (%)
陰性(-)	0	6	23	63	81	43	11	227	84.4
陽性(+)	0	4	2	8	21	6	1	42	15.6
受診者数(人)	0	10	25	71	102	49	12	269	100.0
有所見者率 (%)	0.0	40.0	8.0	11.3	20.6	12.2	8.3	15.6	

⑥腫瘍マーカー検査

PET-CT 検診には、下記 4 種類の腫瘍マーカー検査を含めている。有所見者は B1 以上とする。PSA については、PET-Negative (FDG 異常集積を認めなかつたもの) であったが、PSA で要精査となり、癌が発見されたデータも出ている。PSA 値においては、前回との値の変化率を考慮する前立腺判定を行なっているので結果を下表に示す。

1) CEA

CEA は大腸 直腸 胃 肺 乳房 膀胱 甲状腺 卵巣などのがんで陽性となる。また肝硬変や慢性肝炎など良性疾患でも陽性を示すことがあるが、この場合の CEA はあまり高くない。また、健康人においても長期喫煙者の場合は陽性率が高く、CEA 値は喫煙量に比例する。ベースモーカーでは正常値上限の 2 倍位まで上がる。

2) CA19-9

膵癌で 90% 近く、胆道系癌で 40~80%、胃癌・大腸癌で約 30% が陽性で、消化器系癌を中心に有用性の高さが認められている。良性疾患での偽陽性は胆石症で 20% 程度であるほかは、きわめて頻度が低く、平均して 10% 以下である。この癌特異性の高さが特徴であり、膵癌を中心に腫瘍マーカーとして用いられている。

3) CA125 (女性のみ)

卵巣癌において比較的特異的に高値を示す。漿液性癌、嚢胞膜癌などでかなり高値を示し、癌の縮小と共に数値が低下するので癌の診断だけでなく治療効果判定にも用いられる。また、子宮内膜症でも高値を示すことが多いため、子宮内膜症の補助診断としても用いられている。

<腫瘍マーカー検査総合判定結果>

〈男性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	16	45	102	175	65	21	424	91.6
B1	0	0	2	0	1	0	0	3	0.6
C1	0	1	0	4	5	4	1	15	3.2
C2	0	0	0	3	5	5	2	15	3.2
D	0	0	0	2	4	0	0	6	1.3
受診者数(人)	0	17	47	111	190	74	24	463	100.0
有所見者数(人)	0	1	2	9	15	9	3	39	8.4
有所見者率(%)	0.0	5.9	4.3	8.1	7.9	12.2	12.5	8.4	

〈女性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	6	23	63	81	43	11	227	84.4
B1	0	1	1	2	1	0	0	5	1.9
C1	0	0	0	1	5	4	1	11	4.1
C2	0	1	0	4	7	0	0	12	4.5
D	0	2	1	1	8	2	0	14	5.2
受診者数(人)	0	10	25	71	102	49	12	269	100.0
有所見者数(人)	0	4	2	8	21	6	1	42	15.6
有所見者率(%)	0.0	40.0	8.0	11.3	20.6	12.2	8.3	15.6	

4) PSA (男性のみ)

PSA は前立腺という臓器に特異的な物質であるが、前立腺がんに特異的な物質ではない。PSA は前立腺がん以外にも、前立腺炎、前立腺肥大症などの前立腺疾患、あるいは直腸診などによっても上昇する。また、加齢とともに PSA も上昇する。

<前立腺検査総合判定結果>

〈男性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	17	47	107	178	68	20	437	94.4
D	0	0	0	4	12	6	4	26	5.6
受診者数(人)	0	17	47	111	190	74	24	463	100.0
有所見者率(%)	0.0	0.0	0.0	3.6	6.3	8.1	16.7	5.6	

⑦腹部超音波（下腹部も含む）

PET-CT 検診において、PET-CT 検査単独で受診される場合（基本コース）又は付属の人間ドックにおいて腹部超音波が受診項目にない場合に、腹部超音波検査を実施している。有所見者はB1以上のエコー増強と脂肪肝を除いたものとする。。

<腹部超音波検査判定結果>

〈男性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	0	5	8	9	1	1	24	13.6
B1	0	0	3	7	9	5	1	25	14.2
B2	0	2	9	37	47	12	7	114	64.8
C	0	0	0	0	1	3	1	5	2.8
D	0	0	0	4	4	0	0	8	4.5
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
受診者数（人）	0	2	17	56	70	21	10	176	100.0
有所見者数（人）	0	1	7	37	49	19	8	121	68.8
有所見者率（%）	0.0	50.0	41.2	66.1	87.5	90.5	80.0	68.8	

〈女性〉

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計 (人)	比率 (%)
A	0	4	7	18	17	9	2	57	42.9
B1	0	1	1	8	5	5	4	24	18.0
B2	0	1	3	10	18	10	2	44	33.1
C	0	0	0	1	1	1	0	3	2.3
D	0	0	0	1	2	2	0	5	3.8
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
受診者数（人）	0	6	11	38	43	27	8	133	100.0
有所見者数（人）	0	2	4	19	18	18	5	66	49.6
有所見者率（%）	0.0	33.3	36.4	50.0	41.9	66.7	62.5	49.6	

<腹部超音波検査疾患別一覧>

〈男性〉

	~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計 (人)
肝腫瘍性病変	0	0	2	4	2	1	0	9
肝嚢胞	0	0	4	7	13	7	0	31
脂肪肝	0	2	6	27	22	3	1	61
腎結石	0	0	1	5	12	1	1	20
腎腫瘍	0	0	0	10	23	15	4	52
腎嚢胞	0	0	0	3	6	2	1	12
膵管拡張	0	0	0	0	0	1	0	1
膵嚢胞	0	0	0	0	1	2	0	3
胆嚢ポリープ（隆起性病変）	0	1	1	18	14	4	0	38
受診者数（人）	0	2	17	56	70	21	10	176

〈女性〉

	~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計 (人)
肝腫瘍性病変	0	0	1	1	1	1	0	4
肝嚢胞	0	1	0	8	3	7	2	21
脂肪肝	0	0	0	6	9	2	1	18
腎結石	0	0	1	3	3	2	0	9
腎腫瘍	0	0	0	0	0	1	0	1
腎嚢胞	0	1	1	5	5	9	4	25
総胆管拡張	0	0	0	1	3	1	0	5
胆嚢結石	0	0	0	2	1	2	0	5
膵管拡張	0	0	0	0	1	0	0	1
膵嚢胞	0	0	0	2	1	3	0	6
胆嚢ポリープ（隆起性病変）	0	1	0	2	5	3	0	11
ニューモビリア（肝臓）	0	0	0	0	1	0	0	1
受診者数（人）	0	6	11	38	43	27	8	133

⑧PET-CT 検診におけるがん発見症例数

(PET-CT 基本コース・PET-CT ドックオプションコース・スーパーがんドックコースの計上)

- 肺がん : 4 例 【FDG 陽性 2 例、
FDG 陰性 2 例 (付属検査の胸部 CT 検査・腫瘍マーカー検査にて)】
- 前立腺がん : 3 例 【FDG 陰性 (付属検査の PSA 検査にて)】
- 大腸がん : 2 例 【FDG 陽性 1 例、
FDG 陰性 1 例 (付属検査の便鮮血検査にて)】
- 甲状腺がん : 1 例 【FDG 陽性】
- 胃がん : 1 例 【FDG 陰性 (ドックオプションコースの胃内視鏡検査にて)】
- 腎細胞がん : 1 例 【FDG 陰性 (ドックオプションコースの腹部超音波検査にて)】
- 乳がん : 1 例 【FDG 陰性 (ドックオプションコースのマンモグラフィー検査+乳房超音波検査にて)】
-

がん発見数(合計) : 13 例

PET-CT 検診 がん発見率 : 1.37%

PET-CT 検診+人間ドック がん発見率 : 1.78%